

**製品名: DFFB マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM82345**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	39.1kDa

## 抗原情報

遺伝子名	DFFB
別名	CAD; CPAN; DFF2; DFF40; DFF-40
遺伝子 ID	1677.0
SwissProt ID	O76075
免疫原	大腸菌で発現したヒト DFFB (AA: 1-289) の精製組換え断片。

## 背景

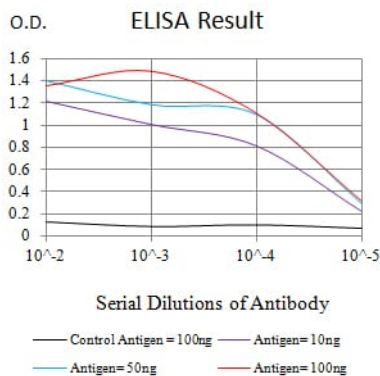
アポトーシスは、哺乳類の発生過程において毒性のある細胞や不要な細胞を除去する細胞死のプロセスです。アポトーシスのプロセスは、細胞と核の収縮と断片化、および染色体 DNA のヌクレオソーム単位への分解を伴います。DNA 断片化因子 (DFF)

は、40kD (DFFB) および 45kD (DFFA) サブユニットのヘテロ二量体タンパク質です。DFFAはカスパーゼ3の基質であり、アポトーシスの際に DNA 断片化を引き起こします。DFFAがカスパーゼ3によって切断されると、DFFが活性化されます。切断されたDFFA断片は、DFFの活性成分であるDFFBから解離します。DFFBは、アポトーシスの際にDNA断片化とクロマチン凝縮の両方を引き起こすことが分かっています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっていますが、これらのバリエーションのいくつかの生物学的妥当性は決定されていません。 [RefSeq 提供、2013年9月]

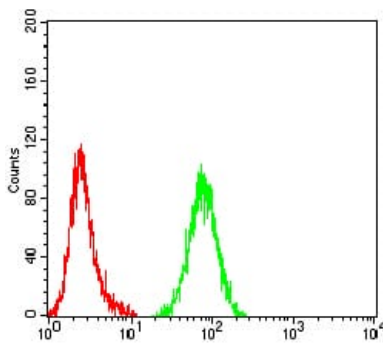
## 研究分野

アポトーシス

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



DFFB マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。